

第 22 回 JCHO高岡ふしき病院地域協議会（議事録）

日 時 令和 8 年 2 月 26 日（木）15 時 30 分～16 時 10 分

場 所 JCHO 高岡ふしき病院 2 階応接室

各委員

医師会：一般社団法人 高岡市医師会

宇野内科医院 院長

宇野 立人（欠席）

行 政：高岡市福祉保健部健康増進課長・保健センター所長

竹田 裕子

利用者：社会福祉法人伏木会理事長

JCHO高岡ふしき病院支援の会 会長

山崎 泰邦

（以上、敬称略）

病 院：高岡ふしき病院 院長

中辻 裕司

同 副院長

宮崎 幹也

同 副院長

和田 攻

同 看護部長

諸江 由紀子

同 事務長

江川 登（進行）

内 容

中辻院長から、第 22 回地域協議会開催の挨拶があり、協議会の開催趣旨（独立行政法人地域医療機能推進機構協議会設置要綱第 5 条）により、中辻院長が議長となり議事に入った。

1. 院長挨拶

本日はお越しいただいた方、ありがとうございます。よろしく願いたします。

2. 報告事項 JCHO高岡ふしき病院の現状と今後（院長）

スライドにて説明（省略）

（病院：事務長より）

4 月 1 日以降の「医師勤務割表（案）」を貼付してありますが、2 名の内科医師の異動に伴い勤務表に空欄が多い状況になっています。そのため、先生方の負担等を考慮し、内科の初診診療が難しくなっていくかと危惧して

いるところですよ。

3. 協議

① 行政から

(竹田所長より)

「医師勤務割表(案)」について、空欄が散見されるが今後医師の名前が入る予定でしょうか。また、医師の異動は基本的に大学へ戻られるということでしょうか。

(病院：事務長より)

「医師勤務割表(案)」の空欄については、今後埋まる見込みは低く、非常に厳しい状況です。

(病院：院長より)

今回異動の2名の医師については、もともと3月までの約束であった。大学も医師不足のため後任を出せないのが現状である。来年度は医師2名減となるため診療も厳しくなる状況です。

(竹田所長より)

医師減について通常診療以外に夜間救急体制等への影響はありますか。「医師勤務割表(案)」の「救急」欄に空白がありますがいかがですか。

(病院：院長より)

もともと少ないスタッフでやっているため、大学医師や開業医の医師に来ていただき問題なく対応しています。また、高岡市民病院や厚生連高岡病院との連携も行っている。

(病院：宮崎副院長より)

「救急」欄については、日中の救急担当医師で消防隊とのホットライン携帯を持つ医師です。二次救急については月2回、内科中心で受け入れていく方針です。

(病院：和田副院長)

4月より初診患者を受け入れが難しいという話ですが、午前は初診担当医師がいるので受け入れ可能です。午後は専門外来等を行っているため受け入れられない場面も出てくるかもしれません。かかりつけ医としての患者さんが来られた場合は、かかりつけ医としての働きをすると考えていただければと思います。

(竹田所長より)

薬剤師の採用は普通に募集して来られたのですか。

(病院：事務長より)

現在中途採用で勤務している 1 名は、ハローワークで求人し、ご縁があり当院に来ていただきました。また、4月からの 2 名については、1 名は副薬剤部長が広域異動で就任、もう 1 名は JCHO 本部の新規採用者で当院に赴任が決まりました。新しい力が加わることによって活性化していければよいと思います。入院患者さまへの指導等も強化していきたいと考えています。

② 地域・患者の立場から

(山崎会長より)

高岡ふしき病院は「健康教室」を、院内でやられていますが、院外でもやられていませんか。

(病院：和田副院長より)

「出前講座」で、各包括支援センターより依頼があり看護師や循環器チームが公民館などに出向くことはあります。「健康教室」については、2 年前に循環器と糖尿病がチームを組んで始めました。今年は、病院からの依頼を受けて、このような教室で行っています。来年も一応、病院の指示のもと行う予定です。「健康教室」は病院に来られている患者さまのみで対象も少ないため、今後は「出前講座」をどのように運用していくかが課題です。

(山崎会長より)

「健康相談のコーナー」等 地域のイベント時によくありますが、例えば主催者側から病院側に要望があった場合、参加していただけるのでしょうか。

(病院：事務長より)

4 月開催の伏木観光まつりにつきましては、参加する方向で話は進んでおります。

(山崎会長より)

病院には直接関係ないのですが、住民の方たちから通院に使えるバス便が非常に悪くなっているとの声がある。例えば、診療科が午前も午後もあるのに、午後は足が無く通院できない状況。そのため訪問診療や訪問看護が増えてきているのが現状。そこで、コミュニティバスの運用等地域課題として上げて、何とか確保していきたいと考えている。以前、地

域で、コミュニティバスを走らせるため、地域の方々とお話しさせていただき、年間1世帯あたり3000円程度徴収し、総額900万円を元金に、15分間隔で、山回りルートと、海回りルートで病院を通るバスを運用する案があったが実現しなかった。今回、再度話を戻してみようかなど考えている。病院だけでは解決できる問題ではない。ただ、足がなくて通えないというのが最悪の状況ではあるので、なんとか回避できないかなという事で今度、地域の問題として上げていこうと思います。また病院さんの協力もお願いしたいと思っています。

(病院：事務長より)

やはりバスの削減っていうのはどこの地域でも進んでいます。三重県の四日市では、商店街や、開業医院等を回るようなバスを運用しており、その回るところから、協賛金という形で資金を徴収している。また、乗車される方より1回100円程度の乗車料金を徴収するという話がありました。

(山崎会長より)

以前の話し合い時には、民間企業の経営を圧迫しないようなルート設定であれば問題ないとのこと。意欲的な市長さんなので、もう1度協力してもらえるよう活動していければと考えている。

③ 管理者から

(病院：事務長より)

病院もかなり厳しい経営状況ですが、できる限り地域住民の方にはご迷惑がかからないような運用を続けさせて頂きたいと思いますので、何か気づいた点やアドバイス頂ければと思います。宜しく願いいたします。

(病院：看護部長より)

本当にいつもありがとうございます。当院は地域密着型の病院なので、様々な住民の方々との取り組みを続けて行きたいと思っています。また、介護施設の方たちと当院のスタッフが、もっと連携できる機会を増やしていきたいとも考えていますので、また、ご協力を宜しく願いいたします。

(病院：和田副院長より)

自分の担当している循環器のことだけで話しますと、健康講座や出前

講座などをチームで手掛けています。循環器の医者は私一人ですがその他のスタッフと協力して、質的な面を上げて患者さんを見守っていかうと思っています。

(病院：宮崎副院長より)

やはりお年寄りの一人暮らしが多く、この冬は転倒が多かったです。それで手術が必要な場合は長期入院となりますが、手術にならないような患者さんは短期間の入院になることが多く、最近是非常に増えてきているように思われます。そのためリハビリ等が十分実施されずに寝たきりになる事が本当に心配です。当院のように地域包括ケア病棟がある病院であれば、リハビリも充実しているので寝たきりになる事が軽減できると考えます。そういう意味では、うちの病院としても役割はちゃんとあるんだと思っています。

(病院：院長より)

1年間ここで働いて、本当にこの病院はこの地域の方々のためにあるんだということを感じています。また、来院の患者さんを見ても、超高齢の85歳以上の方々はかなり多く、県外の家族が、受診日の送迎に前日から実家に来て泊まられたり、あるいは老老介護で来られたりという状況なので、地域住民のためにも当院の診療を継続していきたいと思っています。そのためにも先ほど山崎会長がおっしゃられたコミュニティーバスがあれば助かる地域住民の方も多と思います。なかなか難しいことですが、山崎会長にも頑張ってもらって、本日の内容が形あるものになっていければいいと思います。また、病院としては、やはり経営がかなり厳しい状況なので、何とか我々ができる範囲内で病院を少しでも赤字を小さくして行く取り組みを今後も続けることがこの病院の存続にとって非常に大事なことだと思っていますので、職員一同、少しでも黒字になるように頑張っていきたいと考えています。

4. その他

次回の開催予定日時の確認

日程：第23回 令和8年7月23日(木) 15:30～

場所：JCHO高岡ふしき病院 2階応接室

5. 閉会挨拶(宮崎副院長)

今日は、お越し頂きましてありがとうございました。先ほどからのお話のと

おり、4月からドクターはもちろん看護師の方も人員が減るような状況になって、厳しいことはあるんですけども、なるべく地域の皆さんの負担、迷惑かけないようにやっていこうと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。